

政令指定都市に4月、移行した相模原市で、中学3年生らを対象に冊子を無料配布し、市政への関心を高めてもらおうという取り組みが相次いでいる。相模原商工会議所・都市産業研究会（都産研）は「未来を切り拓く中学生への提言」をテーマに冊子を作成。相模原市は市教育委員会と連携し、「さがみはら男女共同参画推進条例」の啓発冊子を発行した。政令市・相模原の発展への思いを、未来を担う子どもたちに伝えようとしている。

（石曽根 剛）

相模原で中3対象の冊子続々

都産研が重視したのは冊子の親しみやすさ。A5判、14ページでカラー刷りにしたのをはじめ、メンバーが都産研に語呂を合わせた「とさん犬」というオリジナルキャラクターを考案。「ボクから伝えたいことがある」と、とさん犬が中学生に語り掛ける形式を取り、15年後のまちづくりの夢を託している。



さがみはら男女共同参画推進条例の啓発冊子

子どもたちに夢託す

し、無秩序な開発とならず、人に優しいまちづくりの「グリーン・コンパクトシティ」などを目標として取り上げた。

都産研はエフエムさがみの放送で、この冊子を読んだ子どもたちを招き、感想を述べてもらったり、意見交換したりする予定。市教委も冊子を総合的な学習の時間や進路学習で活用する方針だ。

都産研の2009年度会長で、冊子作りのまとめ役となつた中村昌治さんは「産業界として『自立都市・相模原』の実現を目指す思いが子どもたちに伝わればうれしい」と話している。

一方、市の啓発冊子はA4判、6ページで4色刷り。市立中学校の3年生約6千人に配布した。「政令市にふさわしい男女共同参画社会」を目標に掲げ、子どもたちに分かりやすく市の条例を解説している。

「いろいろなことを男女一緒に決めていこう」「家庭や



加山俊夫相模原市長（左）に冊子を渡す中村さん（右）4月21日、相模原市役所

15年後のまちづくり

男女共同参画へ理解

学校などいろいろなところで、男女の区別なく、個性や能力を大切にされた教育をしよう」などのキャッチフレーズも掲載した。

市男女共同参画課は「男性も女性もあらゆる分野で活躍できる社会を目指している。冊子を通じて共同参画の大切さを子どもたちに感じ取ってほしい」と期待している。